

学校 教育 目標	「自分・友達・まちがすき 自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子」 ～自他を認め合い、自ら考え行動する～ (知) 自ら問題を見つけ、解決に向かって、人と関わりながら学び続ける子 (徳) 豊かな心を持ち、自分や周りの人を大切に、よりよく生きようとする子 (体) 自身の健康な心と身体のために、自らの生活習慣をつくる子 (公) 人や自然とのつながりを大切にする、まちが大好きな子 (開) みんなとつながり、未来に向かって生きようとする子				
	学校 概要	創立 47 周年	学校長 中嶋 孝宏	副校長 太田 理絵	2 学期制
児童生徒数： 454 人		主な関係校：名瀬中学校 川上北小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
【自己表現力～自ら考え行動する～】 (知) 思いや考えを表現する力 (知) 論理的に思考する力 (徳) 自分や他者を大切にできる態度 (体) 健康な生活習慣を営む態度 (公) 主体的・積極的に人に関わろうとする姿勢 (開) 夢や希望をもって学び続けていこうとする姿勢	名瀬中学校 川上北小学校	互いに認め合い、主体的に地域、人、もの、ことと関わり、 協働する力やコミュニケーション能力を高めようとする子 ・ブロックで合同授業研究会や各種研修会を開催し、育てたい 子どもの姿や各学校の取組を共有して教育活動に生かす。 ・互いに認め合い高め合い対話的な学びを入れた授業づくりを通して、 身近な人、もの、ことにかかわりながら問題解決的、 協働的に学ぶ学習過程を大切に授業改善に努める。

中期 取組 目標	児童一人ひとりが安心して通える学校 ・「自分」そして「他人」を大切にできる児童を育成します。 ・自ら考え、行動できる児童を育成します。 ・学校運営協議会等の充実による「社会に開かれた教育課程」を編成します。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①「自ら考え、行動できる」資質・能力を日々の教育活動を通して一年間かけて醸成する。 ②子どもたちの実態に合ったスキルタイムを行い、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る。
担当 教務部	
豊かな心	①「気持ちのよい挨拶ができる子」の育成を図るため、あいさつ運動などの取組を充実させる。 ②生活科・総合的な学習の時間を中心として、人やまちと積極的に関わろうとする姿勢を醸成する。 ③認め合いを大切にした道徳の授業等により、自分や他者を大切にできる態度を養う。
担当 人権教育部	
健やかな体	①食育や保健学習など、健康に関する教育活動を充実させ、生活習慣(運動・食事・休養)の改善を図る。 ②一校一実践(なわとびタイム)の取組を通して、運動の習慣化、体力の向上を図る。
担当 健康安全・食育部	
自分づくり教育 (キャリア教育)	①「自己有用感や安心感」を醸成を図るために、日常的なペア活動(ペアでの関わり)を充実させる。 ②自分づくりパスポートの取組を通して、めあてを意識させ、「なりたい自分」を実現していこうとする態度を育む。 ③自然体験を通して、生命や環境を大切にしようとする姿勢を育む。
担当 キャリア教育部	
児童生徒指導	①「ひやかし、からかい」等を見逃さないかわりによる差別をしない努力をする土壌を育む指導を行う ②深い児童理解に基づく、組織的な自信がもてる言葉がけをする。 ③一人ひとりが安心して生活のできるための「教育相談」の充実を図る。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①保護者と連携しながら、個に応じたチーム支援の実施を行う。 ②個の実態を的確に把握し、短期・長期目標の達成に向けた個別の教育支援計画・指導計画の作成・活用する。 ③ケース会議の実施により、一人ひとりの状況に合った学習方法や支援の在り方を検討・推進していく。
担当 児童指導部	
学校連携 学校運営協議会	①様々な教育活動や学校運営協議会の活動を学校だよりやホームページで発信する。 ②保護者や学校関係者による学校評価を受けて、教育活動をよりよいものに改善していく。 ③地域(ひと・もの)との関わりを見直し、さらによりよい教育活動を実施していく。
担当 教務部	
いじめへの対応	①いじめ防止対策基本方針に基づく、差別に気づき、流さない土壌を育む指導を行う。 ②「あいさつ運動」をはじめとする児童の主体的活動を通じた未然防止の取組を行う。 ③毎日実施する、いじめ防止対策委員会における積極的ないじめの認知及び迅速な対応を図る。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①校内研修を計画的に実施する(コンプライアンス・児童指導・特別支援・いじめへの対応など) ②メンターチームやミドルリーダーチームなどによる人材育成システムを通して、同僚性の構築を図る。 ③主幹・総務会議や学年主任会などを充実させ、全体を見通し、めりはりをもって組織的な学校運営を図る。 ④グループウェア(ミライムやGoogle)等を効果的に活用し、仕事の効率化・省力化を促し、働き方改革につなげる。
担当 教務部・メンター・ミドル	